



# 名古屋いのちの電話

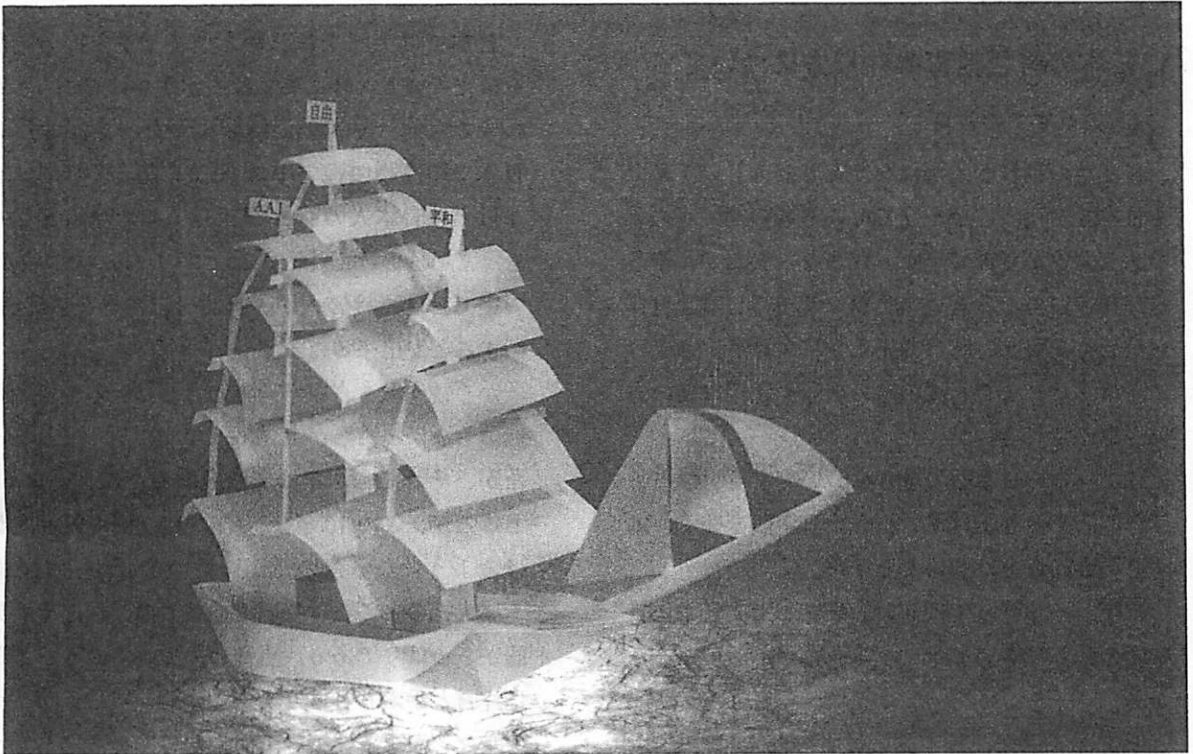


写真 文珠 幹夫

純白の

川崎洋

純白の

大型帆船が

どこかの入江に

しずかに碇泊している

今 思い浮かべる

そのイメージだけで

いい

と

そんなふうに

支えられる

心の弱い日が

私にはある

童話屋出版

「川崎洋詩集」より



## 正しく、美しく、豊かな 日本語をとりもどすために

舟 木 淳

### 1. 日本の言語教育の在り方について

#### イ. これまでの教育

日本語の乱れが問題になりだして久しい。私たち日本語を使って業を立てている者の間でも様々な話し合いがされて来た。残念なことだが、そうした報道に当たる若いアナウンサーの日本語自体が美しくないし、時には正しさに欠ける。おまけにインタビューや対談の時の敬語や言葉の使い方にも驚かされる。

さて、この日本語の乱れについて文部科学省もこの問題をとり上げて、正しい日本語を聞く、話すという指導をはじめたそうだ。

だが、一寸待ってほしい。果たして文科省に日本語の乱れについて云々する資格があるのだろうか。

旧文部省以来、日本語の教育の基本は「読み、書き、ソロバン」であって、ソロバンが計算機に変わった位で基本的には何も変わっていない。しかも読むと言うのは殆どが字が読めるか、書くと言うのは、これも殆どが漢字がかけるかどうかで、文章を書くことはまだしも、文章を読む（朗読）、話すなどということは殆ど付け足しにすぎず、最も肝心な母国語である日本語については全く何も教わっていないと言っても言い過ぎではないだろう。

それだけではない。日本に於ける言語教育は、国語と同様、読む、書く、訳す、それに文法云々で、ここでも聞く、話すという語学が一番大切な部分が完全に欠落している。

日本では英語をはじめとして、主な国の言語を教えている。特に英語は中学からはじまって高校まで六年、大卒者は10年にわたって勉強する。日本での高校の進学率は90%を超えるから、18才以上の日本人の90%以上は六年の学習経験をもっているわけだ。しかし、この一億に近い人達の中でどれだけの人が、英語を自由自在に聞き、話すことが出来るだろう。

かく言う私も、中学一年のときは戦争中で殆ど勉強しなかったし、大学も二年で中退してしまっただが、それでも7年は英語を学んだことになる。ところが、この10年余、年に2、3回海外へ出かけるようになったのだが一番の苦労は言葉である。大抵のところは英語で通じるのだが、その英語がさっぱりである。現地の人や、店の人などとは片言と手ぶり身ぶりで何とか切り抜けるが、ホテルマンが丁寧な英語で話しかけてくると、もう殆どお手上げで、こちらから話すことも出来ない。書かれているものなら或る程度は判読出来るのだが……。

度重なるにつれて段々腹が立って来た。何でだ。7年も英語をやって何で聞くことも、話すことも出来ないのだ。自分だけかといろんな人に聞いてみるのだが、やっぱり殆どが駄目だと言う。

これが国語をはじめとする日本の言語教育の現状である。正しく、美しい日本語も、それを話すことも教えて来なかった文科省に、日本語の乱れを云々する資格はないというのがお判りいただけたらうか。

## 口、これからの教育

当然のこととしてこれからの言語教育は、日本語は勿論、すべての語学がそれぞれどんな言葉の成り立ちをしているかを先ず教え、正しく、美しい言葉を、聞く、話すことからはじまって、読むこと、書くことへ移る。というように方法を変えないと言語教育の意味は無くなってしまう。

先日も或る小学校の先生から突然電話があって、「正しい日本語を聞く、話す」ということを教えるように言われるけれど、とてもそんなことは出来ないで代わって子どもたちに話していただけないかという依頼があった。六年生百数十名に聞いた。日本語はどんな言葉だと思うか。アクセントは高低か強弱かどっちだと思うか。殆ど手は上がらない。

一時間足らずの短い時間だったが、日本語の成り立ち、アクセントは高低アクセントで言葉を柔らかくきかせる鼻濁音というものがあり、シャキッと歯切れよくきかせる母音の無声化という音があり、それらを使って、人に伝えたい大事な部分を高くゆっくり話をする、時に強弱アクセントと思えるのは、語気の強弱であって、その時もアクセントは高低なのと言うこと、などなど……そして最後に、斉藤隆介の「花咲き山」を語ってきかせた。

それまで話の間はときどきざわついていた子どもたちもいたが、語りがはじまるとシーンと静まっていた。

その後届いた感想文—無理に書かせないで下さいとたのんできたが—には、とても新鮮に、又、驚きのおもいが異口同音に語られ、その後の学芸発表会に大変役立ったというお礼がのべられていた。中に、「日本語はとても奥が深いと思いました」という感想まであって、おもわず苦笑させられたが。

生きた言葉は、小さければ小さい程、若ければ若い程身につく。小学校一年生から、出来れば幼

稚園・保育園から生きた言葉を聞く、話すという教育が出来れば理想的だと思う。

だが、ここに大きな問題がある。誰がそれを教えるのかということである。現在の先生にそれを求めてもムリだろう。先生自体がそういう教育を受けていないのだから。

そこで提案だが、教育大学、各大学の教職課程に日本語の習得を義務づける。そして、その教育とそうした教員が育つまでの間の対策として、定年を迎えたアナウンサー、日本語の基礎を学んだ俳優などを採用して、大学や、小中学校に配置するというのはどうだろうか。

一つのことを改革し、定着させるには百年はかかるという。フランスではかつて方言をなくしてフランス語を統一しようとしたとき、やはり百年の計を立てたそう。まず学校教育での統一を徹底し、下から順々に変えていく。方言を正そうとしても特に高齢の人たちにはむずかしく、自然に入れ変わるよりないというのをみての百年であって、フランスは見事に成しとげた。

私はそこまでは考えない。共通語は誰にでも判る言葉として必要とする。言わばフォーマルな言葉であり、方言は親しさ、気楽さをもったカジュアルな言葉として、うまく使い分けられればと思うが。文科省は一日も早く着手してほしいと希う。

## 2、正しく、美しく、豊かな表現

こうして、正しく、美しい日本語は教育で出来上がる。しかし豊かな言葉、表現は教育だけでは何ともならない。

その人、人の人間性の豊かさがなければ、豊かな表現はうまれてこない。

そして、その豊かさこそが、今盛んに言われる個性というものだと思う。個性というのは決して我がまま、勝手なものではない—。

(名古屋いのちの電話継続研修講師 俳優・演出家)

## 『第13期 養成講座を終えて』

養成委員長 長瀬 治之

13期養成講座の認定式を昨年10月末に行い、新しいメンバーを相談員に迎えました。電話相談員として貴重な戦力になっています。今回の養成講座は前期、中期、後期と3期に分け、進めてきました。受講の申し込みは87名あり、実際講義に参加した人は70名でした。前期の講座を終え、相談員を希望した人は48名あり、面接などをして、38名で中期講座をスタートしました。後期は29名となり、最終的に認定したのは24名でした。電話相談員を希望し認定されたのは二人に一人という割合になり、家の事情などで辞退された方もありますが半数近くの人をお断りしたことになります。

養成講座で一番苦慮した点は人が人を評価することでした。評価が一義的にならないよう、なるべく複数の目を介在させることと、紙面を通してだけ評価することは極力避け判断の基準について直接聞くなどその危険性を避ける努力をしました。今回の養成講座の新しい試みの一つは、現役

の相談員も養成の一翼を担い研修生の評価にも参加したことです。人間関係トレーニングを担当した現役の相談員と、ロールプレイをファシリテートした臨床心理士が中期講座の終了後、評価会議を設け、後期に進んでもらう人を絞りました。専門家の目からだけでなく相談員の目を通して評価するというフィルターを一つ増やしました。人を評価する危険性を避けるためさまざまな工夫をしてきたつもりですが、認定を終え、お断りした人の顔が一人二人三人と思ひ浮かびます。

われわれ人間は長く付き合ってみないとわからないところがたくさんあります。ほんの短い時間で判断してしまうわけですから、間違いのほうが多かったかもしれません。養成講座の認定式は終わったのですが、そんな気持ちから、初期研修と称して13期生を3つのグループに分け、1年半に及ぶ事例検討会を企画し提案しました。13期生の本当の意味での「養成」はこれから始まるのかもしれない。

### 初めて電話に出る日

電話室に向かいながら、自分に言い聞かせるように、心のうちで繰り返す。

「誠実に聴くこと。相手のことをよく分かろうと努めよう。家事やら仕事やら、今日やることは、全て済ませた。電話の向こうにいる利用者の話を、落ち着いて聴こう。映画や劇を見るのが好きなので、どんな利用者の話も、興味をもって聴けるだろう」と。

電話を終えてまず感じたのは、両肩にずっしり

の疲労感。あつという間に時が過ぎたように感じたが、今思うと、思い時間だった。電話に出る前に、自分に言い聞かせていたことが、守れたかどうかもおぼつかない。

「1回目だからね」と、口に出して言ってみる。「初めての経験をしたね」。

無我夢中だったが、この日受けた6件の電話を、これから折にふれて思い出すことになるのかもしれない。

13期生 (T.)

## 相談員になって

「はい。名古屋いのちの電話です。」「あの…。皆さんのように命にかかわる電話ではないのですが…」これが相談員として私が初めて受けた電話だ。

心臓がバクバクしている。聞き漏らさないようにとペンで走り書きを始める。

電話の向こうから声は聞こえるのに、頭の中はふわふわして「はい。はい」と言葉を続けるだけの私がいる。相談員は自分の意見や助言を与えることをせず、共感を持って話を聴き、受け止める

姿勢が大切だと勉強させて頂いた。が、初めての電話はどこでどのように共感したのかもわからず電話相談が終わった。

すぐに先輩相談員さんに助言を求めたけど「答えはないのよ」と言われた。そして「たくさん経験すること。あなたが受話器を取ったときの、今の気持ちを忘れないでね」って笑っていらした。

帰りの車のなか、今の気持ちを忘れないぞと心に誓いながら家路をいそいだ。電話相談員としてこれからも利用者の良き隣人として接していきたい。

13期生 (K・K)

## 市民公開講座

### いのちが輝くとき～ドラマチックということ～

伊豫田 静弘

スポーツで「ドラマチックな試合展開」とか、人物評で「ドラマチックな人生」とか表現することがある。そうしたダイナミックなシーンでなくても、「ドラマチックな空間」「ドラマチックな風景」などのように、建築や生活の場でも使われることが多い。果たして「ドラマチック」とは、どんなことなのだろうか。

長年、テレビドラマや舞台で演出の仕事にたずさわってきた私は、絶えず「ドラマチック」とは何かと問い続けてきた。ドラマは人間の生き方を描くものであり、喜怒哀楽の中に、人はいかに生きるかという永遠のテーマを問いかけている。登場する人物はそれぞれの表情をし、それぞれの想いを秘めて生きている。そして、その人生の歩みの中で、失敗をおかし人を傷つけることもある。もし、それが二度と取り返すことができないようなことだとしたら、どうだろうか。約束を果たせないまま愛する人を失ってしまった例。大切なひとを伝えないうまま永遠の別れとなってしまった例。あるいは誤解のまま過ぎ去っていった帰らざる日々。決して取り返すことができない、もう二度と元に戻すことができない大切なものを失った時、人は悔やみ、自分を責め、言いわけをして慰め、悲しみ、怒り、涙することであろう。いや、そればかりか、決して取り返すことのできない運

命とでも言うべきことでも、なんとか取り返したいと思うはずである。その思いや行動が、実はドラマの根底にあり、そこからドラマチックな生き方が生まれ、ドラマを見る人の心を動かすのである。そこに感動の本質がある。

私が演出したNHKのテレビドラマを例にとれば、「ながらえば」(昭和57年)では、名古屋で入院中の老妻と別れて、息子夫婦と一緒に、遠く富山へ転居していった夫(笠智衆)が、「このまま別れ別れになったら、ひょっとしても二度と逢えんかもしれん」と、引き止める嫁をつきとばして、老妻の入院先へもどってくる。この力はどこから生まれたのだろうか。「二本の桜」(平成4年)では、遊び人の兄(長門裕之)がアルツハイマーであることを知った弟(江守徹)は、支店長まで勤めた銀行を中途退職し、兄が得意だった造園業と一緒に始める。弟に悔いはなかったのか。「鳥帰る」(平成7年)では、反目しあっていた母(香川京子)と娘(田中好子)が、愛憎をのりこえて歩み寄る。心のしこりを消すことができたのだろうか。さらに「いちばん綺麗なとき」(平成11年)では、大喧嘩した義理の姉妹(加藤治子・八千草薫)が、ラストシーンで見たものは、光り輝く三河湾の美しい風景だった。人生のいちばん綺麗なときは何を意味するのか。

取り返せないものを、取り返そうとする人間の意志や思想、そしてそこから生まれるエネルギー的な行為の中にいのちがいちばん輝くときがあるような気がする。

(2004年2月28日講演要旨)





# 名古屋 いのちの電話 チャリティーコンサート

スーパー・マルチシンガー 加藤ヒロユキ シングス

## カンツォーネとアリアの夕べ

3オクターブの美声が誘うイタリアの陶醉!

4月24日(土) 19:00 (開場18:30) 名古屋中央教会 (地下鉄「栄」5番出口すぐ)

●入場料2000円 (当日券2500円)

■主催: 名古屋いのちの電話

### 賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員 (年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
口座番号 UFJ 銀行 大津町支店 (普) 477029  
郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

税法上の優遇措置は次の通りです。

個人の所得控除の場合

1. 寄付をした個人は確定申告によって次の限度内で所得税法上の寄付金控除が受けられます。  
(寄付金額とその年分の所得金額 (総所得金額及び山林所得金額の合計額) の25%のいずれか低い方の金額) - (1万円)

法人の損金算入の場合

2. 寄付をした法人は、確定申告によって次の限度額で法人税法上損金算入ができます。
  - ① 一般損金算入限度額 (法人税法第37条第2項該当)  
$$\left( \text{資本等の金額} \times \frac{2.5}{1000} \times \frac{\text{事業年度の月数}}{12} + \text{当該事業年度の所得金額} \times \frac{2.5}{100} \right) \times \frac{1}{2}$$
  - ② 社会福祉法人等に対する寄付金の特別損金算入限度額 (法人税法第37条第3項第3号該当)  
社会福祉法人、学校法人及び試験研究法人等に対する寄付金は、その合計額について、上記①の一般損金算入限度額のほかに、これと同額の別枠で損金算入することができます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
名古屋いのちの電話

2004年春

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号  
事務局 ☎ 052-971-5181 郵便振替口座 00810-8-53758  
相談電話 ☎ 052-971-4343 UFJ銀行大津町支店 (普) 477029  
携帯相談電話 NTTドコモ東海「# 9556」

2004年3月1日発行  
発行人 長岡 利貞  
編集人 広報委員会